

広島市植物公園

見どころ案内

コダチダリア (キク科) 南アメリカ原産の冬咲きのダリアです。皇帝ダリアとも呼ばれます。うす紫の花を咲かせています。寒さに弱いので一晩の低温で枯れることができます。

ノジギク (キク科) 西日本の海沿いに生える野生菊です。花色は白。まれに淡黄色。地域によっていろいろな変種があります。

アシズリノジギク (キク科)

ノジギクの変種で、四国の足摺岬周辺にあるので名がつきました。葉のふちに白いふちどりがあります。花は白、ノジギクの仲間で一番美しいとか…。

クリスマスを飾るフラワー展

11/20(水)~12/25(水)

展示温室にて開催

大きなリースやポインセチアのパートといっしょに記念写真を！

特別企画展 蘭花譜展

9/14(土)~12/23(月・祝)

展示資料館 1階展示室にて開催

前・中・後期に分けての展示も残すは後期のみとなりました。

「蘭花譜」は、ランの収集家 加賀正太郎氏が人生をかけて監修・制作した104枚の植物図譜です。うち83枚が浮世絵の木版画の技法で印刷されました。一流の、蘭の収集家、栽培家、日本画家、木版の彫師、摺師が作りあげた幻のコレクションです。芸術的にも大変価値のあるカラー図譜です。

広島市植物公園ガイドボランティアの会

2013年11月23日

通巻第168号

ナカガワノギク (キク科)

徳島県那賀川の中流域に生える野生菊で、水の流れにあたって折れないよう茎がしなやかです。葉の元が細く、くさび形をしています。ロックガーデンにもあります。

オッタチカンギク (キク科)

島根県出雲市乙立町で見つかったので名がつきました。シマカンギクの変種で、花色は黄。花も葉も小さめです。

イソギク (キク科)

関東から静岡県までの太平洋岸に生える野生菊です。筒状花だけなので、花占いで花びらをちぎったあとのように見えます。花色は黄。

ハナイソギク (キク科)

イソギクに米粒くらいの花びらがついた形をしています。筒状花だけのイソギクと栽培種の雑種と考えられています。

サザンカ (ツバキ科)

ツバキの仲間で日本固有種です。山口県から沖縄まで分布していて、別名は沖縄サザンカ。ツバキ園の一番奥の斜面に高さ4mくらいの木があり白い花を咲かせています。

グランサムツバキ (ツバキ科)

中国原産の巨大な花をつける椿です。昨年は開花直前の寒波でつぼみがダメになりましたが、今年は白い花が咲きました。

